

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神奈川県警察職員宿舎整備運営事業(第2期)(A棟)	階数	地上5F
建設地	平塚市龍城ヶ丘45番5の一部外5筆	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居地域、準防火地域	平均居住人員	108人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年12月26日
敷地面積	4,815 m ²	作成者	大成ユレック(株)一級建築士事務所
建築面積	914 m ²	確認日	2018年12月26日
延床面積	3,001 m ²	確認者	大成ユレック(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外のオンサイト手法 73%
④上記+オフサイト手法 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 省エネルギー・省資源に優れた設備を採用し、環境に優しい宿舎にするとともに、メンテナンス性が高く、ライフサイクルCO ₂ の削減に寄与する建物とした。		
Q1 室内環境 断熱性能が優れた建築材料を採用し、空調負荷の少ない建物とした。	Q2 サービス性能 設備配管材料を耐久性のあるものを採用し更新間隔を長くすることとした。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー 潜熱回収型給湯器及びLED照明設備の採用など、エネルギーの削減を図った。	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=73%とした。広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される